

# ヤマシンフィルタ株式会社 2017年3月期 第1四半期 決算説明資料

厳しい市場環境の影響は受けるものの  
利益体質強化の取り組みは順調に推移

2016年8月4日  
(証券コード6240)

- I. 2017年3月期 第1四半期実績 P. 6**
- II. 2017年3月期 業績予想 P. 14**

## 当社決算の特徴

### セグメント と KPI

- 建機用フィルタは「ライン品」と「補給品」にわかれる
- ライン品は新車搭載用のフィルタ
  - ・ 重要指標は、「新車需要台数」
- 補給品は交換部品用のフィルタ
  - ・ 重要指標は、「稼働台数」×「稼働時間」

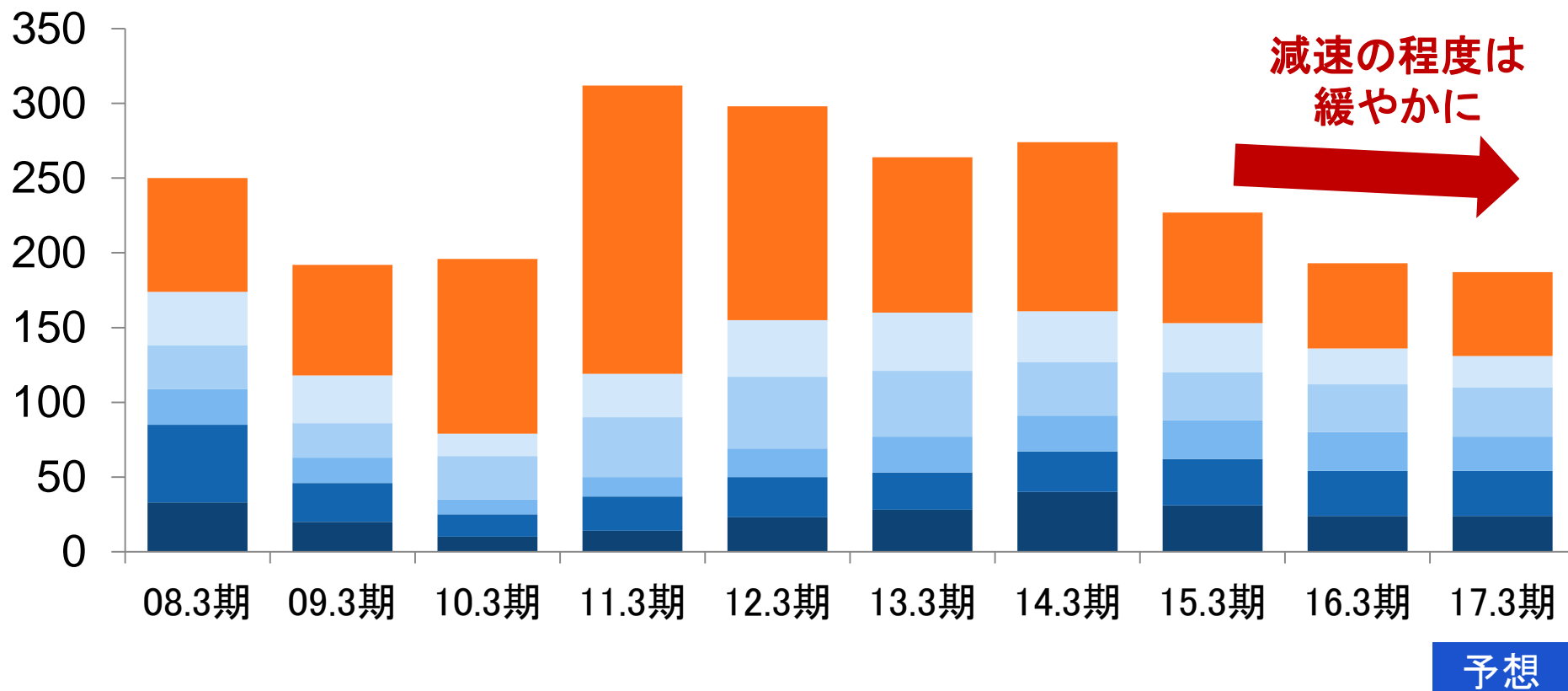
### 販売形態 と 地域別動向

- 建機用フィルタの売上は、建機メーカーへの直接販売(100%)
- エンドユーザへの直販は基本的に行っていない
- 地域別売上高は参考値。当社請求書送付先基準のため、実際の地域別市場動向と異なる
- 今回の資料より「連結調整」の項目を建機用フィルタに含めて表示しております(有価証券報告書開示基準)

# 事業環境/油圧シヨベル新車需要

■ 17.3期の需要予想値に前回発表(2016/5/23)から変更はなし。

(千台) ■ 日本 ■ 欧州 ■ 北米 ■ アジア・大洋州 ■ その他の地域 ■ 中国

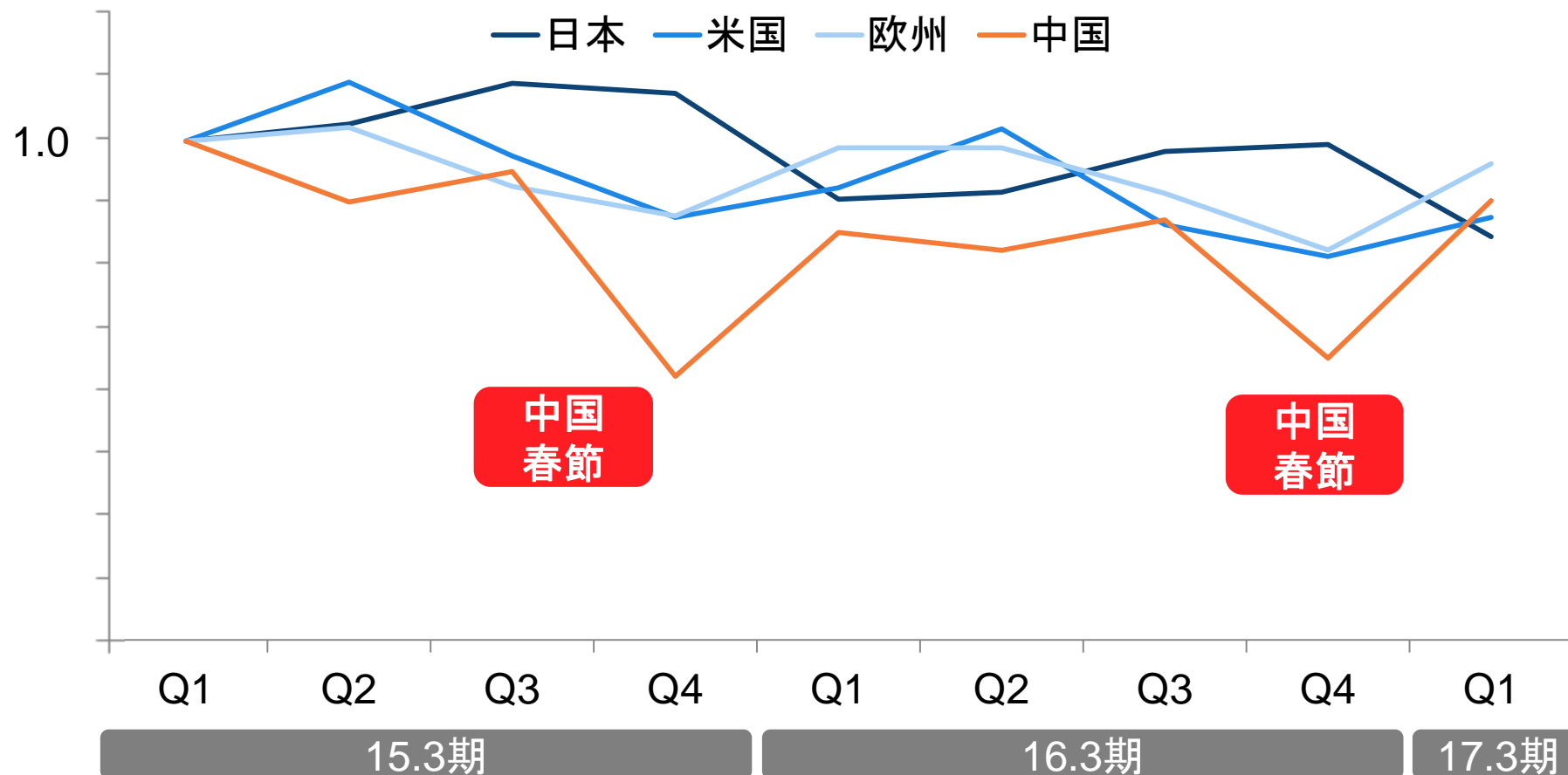


(各建機メーカーおよび工業会公表データより当社推計)

# 建機稼働時間

## ■ 緩やかな減少傾向が続くが、一部回復も見られる

(2014年4~6月の値を1.0として指数化、四半期ごとの推移)



(出所)野村証券アナリストレポートをもとに当社作成

# I . 2017年3月期 第1四半期実績 ~需要低迷が続くものの、 回復の兆しは見えてきている~

# 2017年3月期 第1四半期実績サマリー

- 建機市場の低迷により、前期比減収
- \*PAC16が功を奏し、利益率は改善

(単位:百万円)	16.3期 1Q	17.3期 1Q	17.3期 1Q	前期比増減	
	実績	計画	実績	金額	%
売上高	2,558	2,156	2,347	△ 211	△8.3%
営業利益	88	81	192	104	118.3%
当期 純利益	64	45	159	95	147.1%

※PAC16: Promptly Activated Cost reduction 2016 (迅速かつ効果的なコスト削減)

需要低迷を背景とした、全社的なコスト削減活動

# 製品別売上高

- ライン品、補給品ともに建機市場の低迷により前期比減収
- ライン品は生産計画上振れ、補給品は在庫調整の反動により、計画比増収

(単位:百万円)

	16.3期 1Q	17.3期 1Q	17.3期 1Q	前期比増減	
	実績	計画	実績	金額	%
建機用フィルタ	2,253	1,845	2,052	△ 201	△8.9%
ライン品	969	797	900	△ 68	△7.1%
補給品	1,284	1,048	1,151	△ 132	△10.3%
産業用フィルタ	115	121	97	△ 18	△15.7%
プロセス用フィルタ	189	189	197	8	4.2%
売上高合計	2,558	2,156	2,347	△ 211	△8.3%

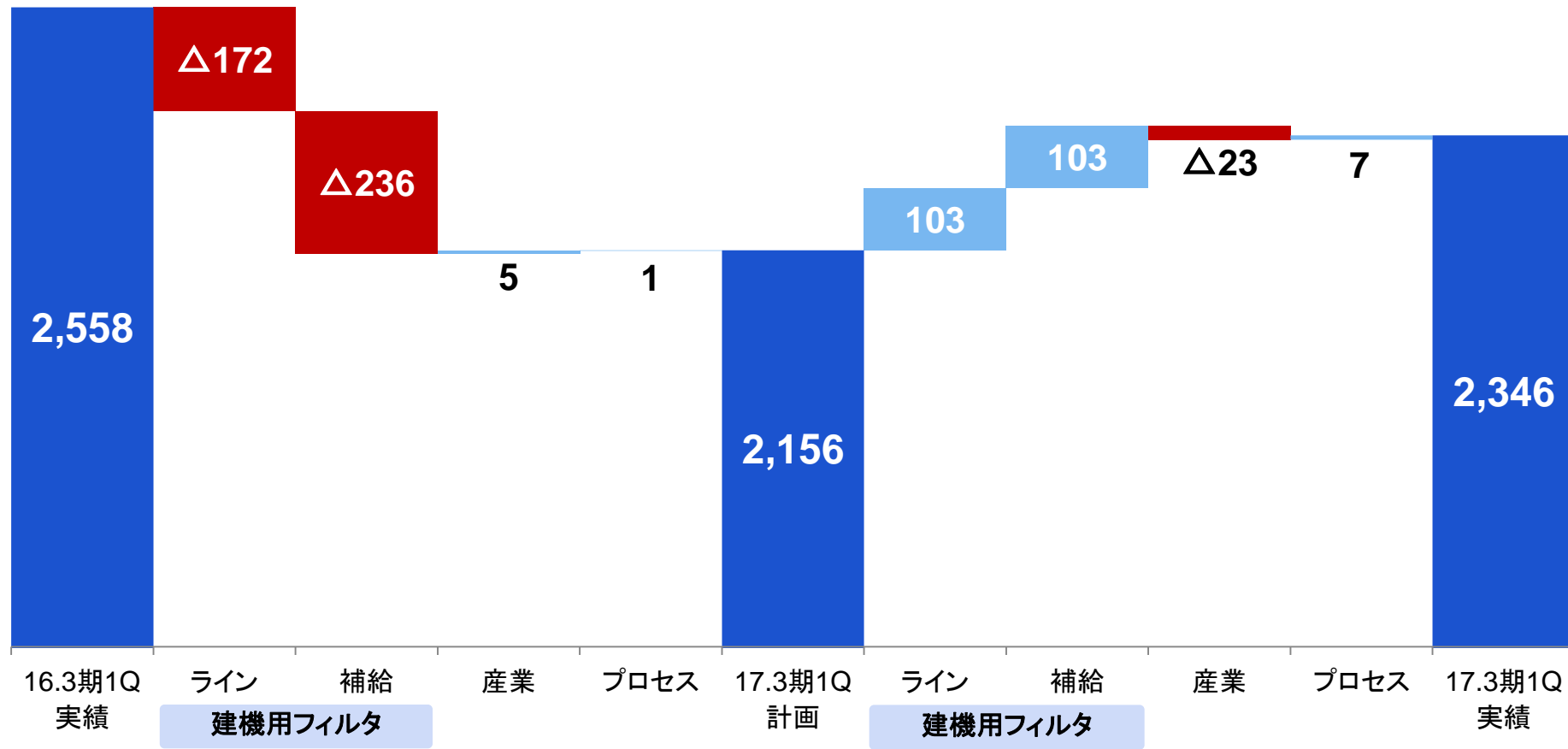
※連結調整項目は建機用フィルタに含めて表示しております(有価証券報告書開示基準)



# 売上高の増減要因

- ライン品、補給品ともに建機市場の低迷により前期比減収
- ライン品は生産計画上振れ、補給品は在庫調整の反動により、計画比増収

(単位:百万円)



# 地域別売上高

## ■ 中国以外の地域で減収

(注) 当社請求書送付先基準のため、実際の地域別市場動向と差異が出ます

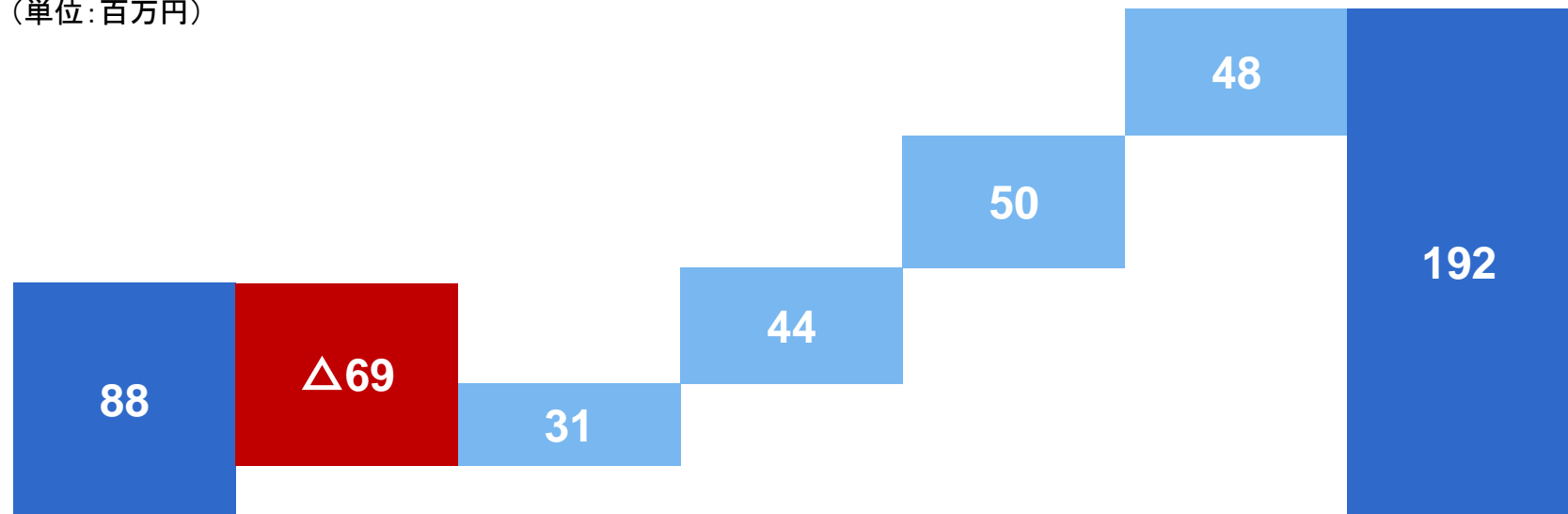
(単位:百万円)	16.3期1Q 実績		17.3期1Q 実績		前期比増減	
	金額	%	金額	%	金額	%
国内	1,309	51.2%	1,195	50.9%	△ 114	△8.7%
北米	506	19.8%	376	16.0%	△ 130	△25.7%
中国	87	3.4%	185	7.9%	98	112.7%
アジア	314	12.3%	259	11.1%	△ 54	△17.3%
欧州	300	11.7%	290	12.4%	△ 9	△3.2%
その他(中東他)	41	1.6%	39	1.7%	△ 1	△4.2%
売上高合計	2,558	100.0%	2,347	100.0%	△ 211	△8.3%

※連結調整項目は「その他」に含めて表示しております。

# 営業利益 増減要因

- 建機市場の低迷による売上高減少の影響を受けるものの、歩留まり改善や経費削減等により、前年同期比で増益に成功

(単位:百万円)



営業利益 16.3期 1Q実績	販売数量 および単価変動 による影響	為替による影響	PAC16による 製造原価の削減	PAC16による 販管費の削減	販売・製造の減少 に伴う販管費減少	営業利益 17.3期 1Q実績
	販売数量 69 単価変動 △138	アメリカドル 14 フィリピンペソ 32 その他通貨 △15	材料費 33 労務費 1 製造経費 9	人件費 2 経費 47		

# 貸借対照表

## ■ 有価証券の取得等により、投資その他資産は増加

(単位:百万円)	2016/3期 期末	2017/3期 1Q	増減額		2016/3期 期末	2017/3期 1Q	増減額
流動資産	7,604	6,757	△ 846	流動負債	1,704	1,919	215
現金・預金	3,806	2,886	△ 919	支払手形及び買掛金	796	921	124
受取手形及び売掛金	1,880	1,989	108	短期借入金 1年以内返済社債・ 長借	500	500	-
商品・製品 & 原材料・貯蔵品	1,465	1,384	△ 80	その他	407	498	91
その他	452	496	44	固定負債	1,617	1,628	10
固定資産	1,919	2,947	1,028	社債	800	800	-
有形固定資産	1,322	1,269	△ 53	長期借入金	450	450	-
無形固定資産	97	171	74	退職給付に係る負債	164	170	5
投資その他資産	499	1,505	1,006	その他	203	207	4
資産合計	9,523	9,704	181	純資産合計	6,201	6,156	△ 44
				負債純資産合計	9,523	9,704	181

\*自己資本比率

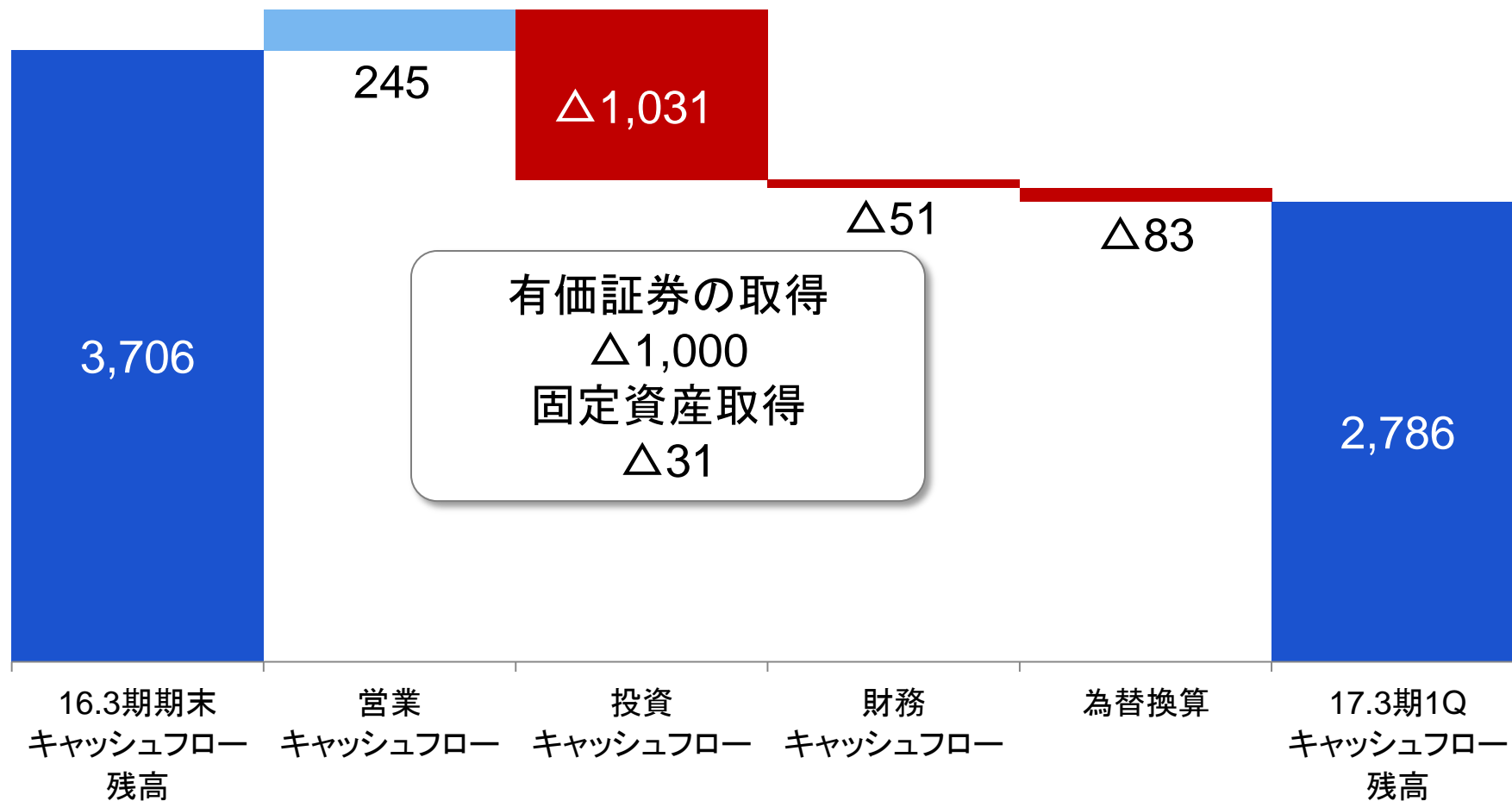
65.1%

63.4%

# キャッシュフローの増減要因

## ■ 現金及び現金同等物の残高は前期末比で減少

(単位:百万円)



## Ⅱ. 2017年3月期 計画 ~今後の需要および為替の動向を 慎重に見極める~

# 2017年3月期 通期業績予想

- 需要低迷の影響を受けつつも、利益率の確保に努めていく

(単位:百万円)	16.3期	17.3期	前期比増減	
	実績	計画	金額	%
売上高	9,458	8,670	△ 787	△8.3%
営業利益	407	344	△ 63	△15.5%
当期純利益	183	181	△ 2	△1.7%
ROE (%)	3%	3%	—	—

※想定為替レート:1USDドル=120円、 1ユーロ=130円

# 2017年3月期売上予想 製品別

- ライン品・補給品ともに回復傾向ではあるものの、前期比においては減収の見込み

	16.3期	17.3期	前期比増減	
	実績	計画	金額	%
(単位:百万円)				
建機用フィルタ	8,174	7,403	△770	△9.4%
ライン品	3,553	3,062	△490	△13.8%
補給品	4,620	4,340	△279	△6.1%
産業用フィルタ	468	483	15	3.3%
プロセス用 フィルタ	815	783	△32	△4.0%
売上高合計	<b>9,458</b>	<b>8,670</b>	<b>△787</b>	<b>△8.3%</b>

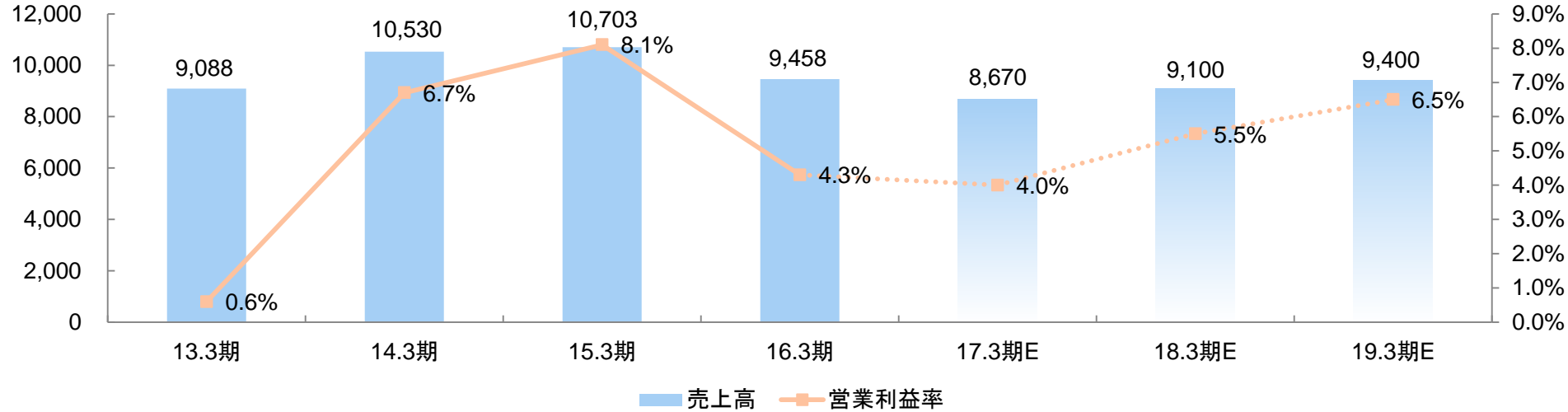
※連結調整項目は建機用フィルタに含めて表示しております(有価証券報告書開示基準)



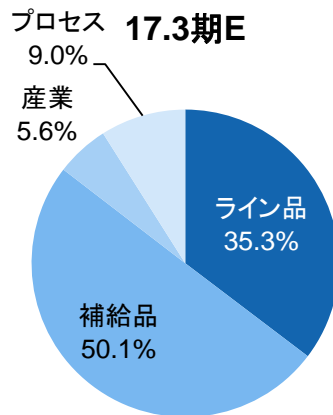
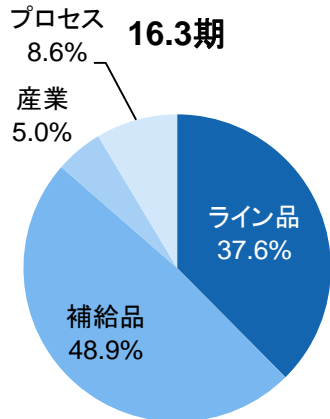
# 参考資料

## 売上高・営業利益率推移

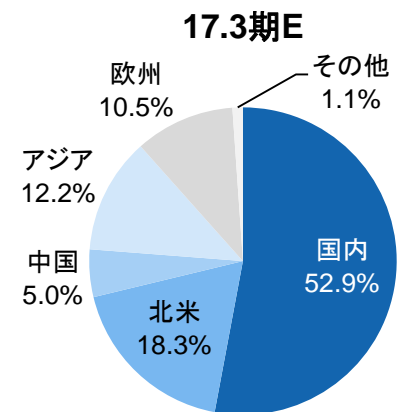
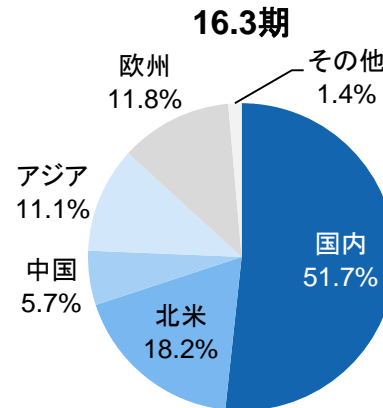
(百万円)



## 製品別売上高

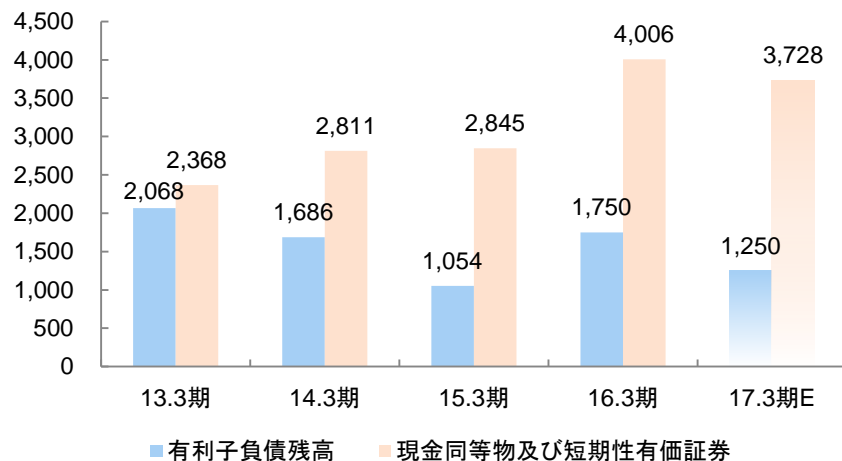


## 地域別売上高

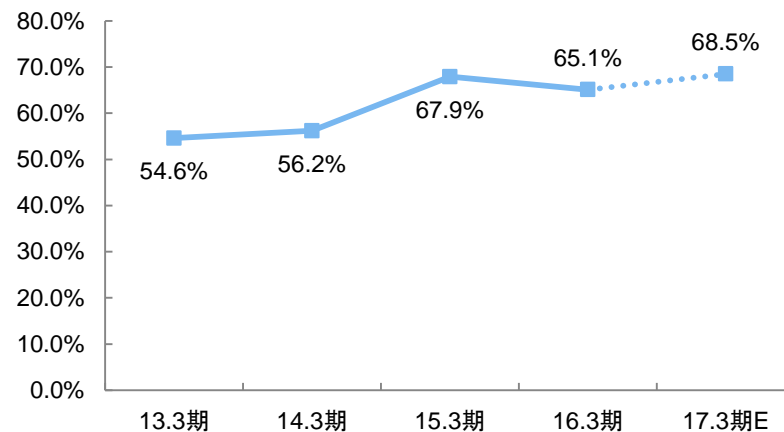


## 有利子負債・現金同等物及び短期性有価証券残高

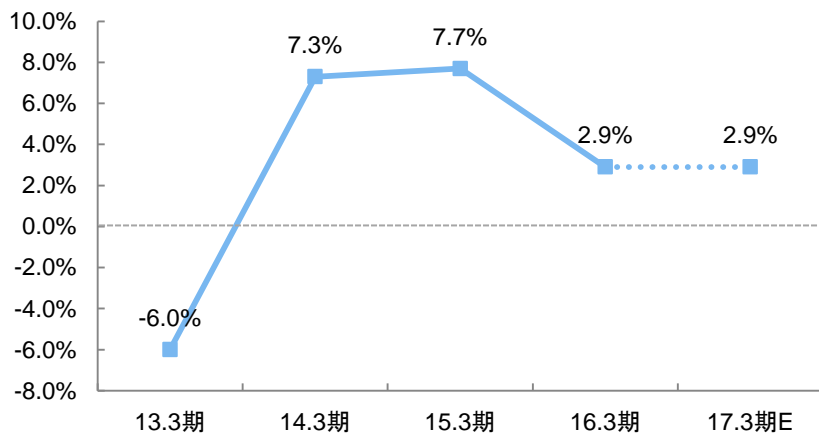
(百万円)



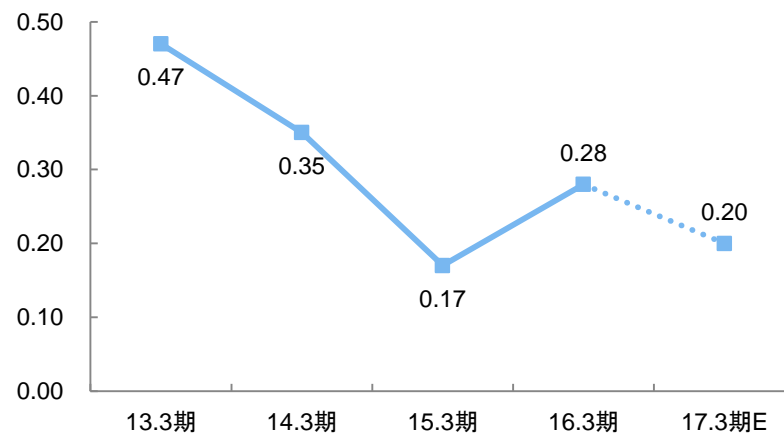
## 株主資本比率



## ROE



## D/Eレシオ



この資料に記載されている業績の見通し等将来に関する情報は、現在入手可能な情報に基づいて作成しております。実際の業績は市場動向や業績情勢等の様々な要因等によって異なる可能性があります

この資料に関するお問い合わせは  
ヤマシンフィルタ株式会社 経営企画室まで

TEL (045-680-1680)

E-mail: [ir@yamashin-filter.co.jp](mailto:ir@yamashin-filter.co.jp)